

(件名)

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施結果

(危機対策課)

1 目的

弾道ミサイル発射時の住民の初動対応訓練を実施することにより、住民が迅速かつ的確な避難行動を取れるよう、国民保護事案発生時に鳴るサイレン音の周知や住民一人ひとりの適切な判断と行動の習得、関係機関による適切な避難誘導の確認を目的とする。

2 実施の概要

実施日時	令和7年7月22日(火) 午前8時45分～9時00分頃 ※訓練終了後、消防庁による住民向け講演会を実施
実施場所	下田市須原区民会館周辺 (静岡県下田市須原1325-4)
主催	内閣官房、総務省消防庁、静岡県、下田市
参加者	須原1区及び須原2区の住民、警察、消防
訓練想定	X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に飛来する可能性があると判明し、Jアラートによる警報が発せられる。その後、迎撃が成功し破壊される。
訓練項目	(1) 防災行政無線による住民への情報伝達訓練 (2) 須原区民会館周辺における住民避難訓練

3 訓練参加者

- (1) 避難者：64名(住民(54名)、下田市(10名))
- (2) 避難誘導者：8名(静岡県警察本部(2名)、下田警察署(2名)、下田消防本部(2名)、下田市消防団(2名))
- (3) 訓練統制部：24名(総務省消防庁(3名)、静岡県(12名)、下田市(9名))
- (4) 報道機関：6名(テレビ局(3社)、新聞(3社))
- (5) 参観者：20名(県内市町(3市2町8名)、静岡県警察本部(2名)、下田警察署(4名)、下田消防本部(3名)、東部地域局(2名)、中部地域局(1名)、)

4 訓練の成果と課題

(1) 成果

- ・住民が国民保護事案発生時に鳴るサイレン音を認識した。
- ・住民一人ひとりが迅速かつ的確な避難行動を取り、適切な判断と行動を習得した。
- ・関係機関の避難誘導が適切に行われていることを確認した。

(2) 課題

- ・自ら避難行動を起こせる方々が参加したが、実際に弾道ミサイルが発射された場合には、避難支援が必要な方々も避難の対象となるため、次回の訓練では、避難行動要支援者への対応を含めた訓練を実施し、具体的な方法を確認する必要がある。

5 講評（要約）

（1）下田市長

- ・現在、ウクライナ等での紛争により国際情勢は非常に不安定な状況である。
- ・下田市も戦時中に多くの被害を経験しており、戦後80年の今年は、市として戦争を考える取り組みを実施している。
- ・ミサイル攻撃といったリスクについては、日常的に意識されていない現状があるため、今回の訓練は非常に意義深いものとなった。
- ・自然災害とミサイル事案では避難行動が異なるが、こうした訓練の実施を通じて、地域の安全性を高め、被害を少しでも減らすことにつながる。
- ・市としても、引き続き、地域の安全確保に尽力していく。

（2）消防庁国民保護運用室長

- ・我が国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しい状況にある。
- ・ミサイルが落下するとなった場合に、一人でも多くの方が助かっていただくためにも、今回の訓練は、さまざまな状況に応じた避難行動を取っていただいたことで、その備えとして大変重要なものとなった。
- ・今回の訓練を通じて、旅行中や外出時など、あらゆる場面で、いざというときにどう行動すべきかを考えるきっかけとなれば幸いです。

（3）静岡県危機管理監

- ・本日の訓練の目的は、弾道ミサイルが発射された際に、住民の方々がどのような行動をとればよいかを理解していただくことであった。
- ・サイレンが鳴り、情報伝達が行われた中で、皆さまに避難行動を実践していただいたことで、非常に有意義な訓練となった。
- ・あらゆる事態において適切な避難行動を取っていただくことが、被災される方を減らすことにつながる。
- ・今後も様々な機会を通じて、あらゆる場面に応じた適切な避難行動を考え、実践していただきたい。
- ・県としても、住民が適切な行動を取れるよう、引き続き周知に努めていく。

6 消防庁による国民保護に関する住民向け講習会

以下の内容について説明があった。

- ・国民保護や国民保護措置の概要
- ・飲料や食品等の非常持ち出し品の用意
- ・Jアラートの概要
- ・弾道ミサイル落下時に様々な場面で爆風等から身を守るための避難行動の紹介

7 今後の対応

- ・避難行動要支援者への対応が考慮されていなかった点について、次回の島田市の訓練において、車椅子を利用する方などの避難行動要支援者の具体的な避難方法を検討・確認する。
- ・今回の訓練の記録映像を下田市や関係機関と共有し、振り返りや研修に活用するとともに、各市町にも映像を共有し、地域の状況に応じた訓練の実施を促進していく。
- ・市町と連携して、住民が参加する研修や会合等のあらゆる機会を通じて各場面における最適な避難行動を周知する。

訓練中の様子



講評



講習会

